

Bell-Park

第13期 中間決算説明会

(2005年1月1日～2005年6月30日)

2005年8月10日

株式会社ベルパーク

JASDAQ
(証券コード 9441)

<http://www.bellpark.co.jp/>

- I 中間決算総括
- II 中間決算財務情報
- III 2005年上期営業実績
- IV 2005年通期利益計画

I 中間決算総括

- ボーダフォン社が、1月から5月まで連続で累積契約数が減少するなど、非常に苦戦する中、当社も苦戦。
しかしながら、昨年3月と12月に実施したM&Aによる店舗増(13店舗増加)が、当中間連結会計期間にフルに寄与。売上面における増収効果に加え、コスト面においても、人材育成、その他本社経費におけるスケールメリットが働いた。
以上の結果、経常利益371百万円(前年同期比137.9%)となった。
- 当中間連結会計期間中に、破綻した家電量販店から引き継いだ2店舗(東京都大井町、東京都大森)、新規出店(神奈川県日吉、愛知県岩倉)2店舗を加え、総店舗数は、昨年末の48店舗から52店舗へ。
- 新規事業を積極的に展開。
 - ①今年1月より、新宿に新オフィスを開設し、固定回線加入取次事業をスタート。
 - ②人材派遣(JPS社)は、事務所移転等もあり、経常利益△35百万円となったものの、下期より黒字浮上へ。

Ⅱ 中間決算財務情報

1. 2005年上期連結業績分析

(百万円)

	04年上期	05年上期	前年同期比	増減の主な要因
	金額 構成比*1	金額 構成比*1	増減額 増減比*2	
売上高	6,977 (100.0%)	11,484 (100.0%)	+4,506 (+64.6%)	①M&Aにより、主に機種変更・アフターサービスが増加 ②端末仕入価格の高額化に伴う受取手数料の増加 ③ネットワーク事業の開始
売上総利益	1,339 (19.2%)	2,123 (18.5%)	+783 (+58.5%)	同上
販売費及び 一般管理費	1,080 (15.5%)	1,755 (15.3%)	+675 (+62.5%)	M&Aによる規模拡大、新事業開始により主に以下の費用が増加 人件費282百万円、業務委託費129百万円、地代家賃91百万円
営業利益	259 (3.7%)	367 (3.2%)	+107 (+41.6%)	売上総利益と販売費及び一般管理費の理由による
経常利益	269 (3.9%)	371 (3.2%)	+102 (+37.9%)	同上
特別損益	△61 (△0.9%)	△15 (△0.1%)	+46 (-)	①2004年上期の営業権償却51百万円がなくなったため ②2005年上期は店舗等の移転及び原状回復費用、固定資産除却損
税引前 純利益	208 (3.0%)	356 (3.1%)	+148 (+71.3%)	経常利益および特別損益の理由による
中間純利益	72 (1.0%)	165 (1.4%)	+93 (+129.3%)	同上

*1: 売上高に対する構成比率

*2: 前年同期に対する増減率

I 決算総括

II 財務情報

III 営業実績

IV 利益計画

Bell-Park

2. 2005年上期セグメント別業績分析

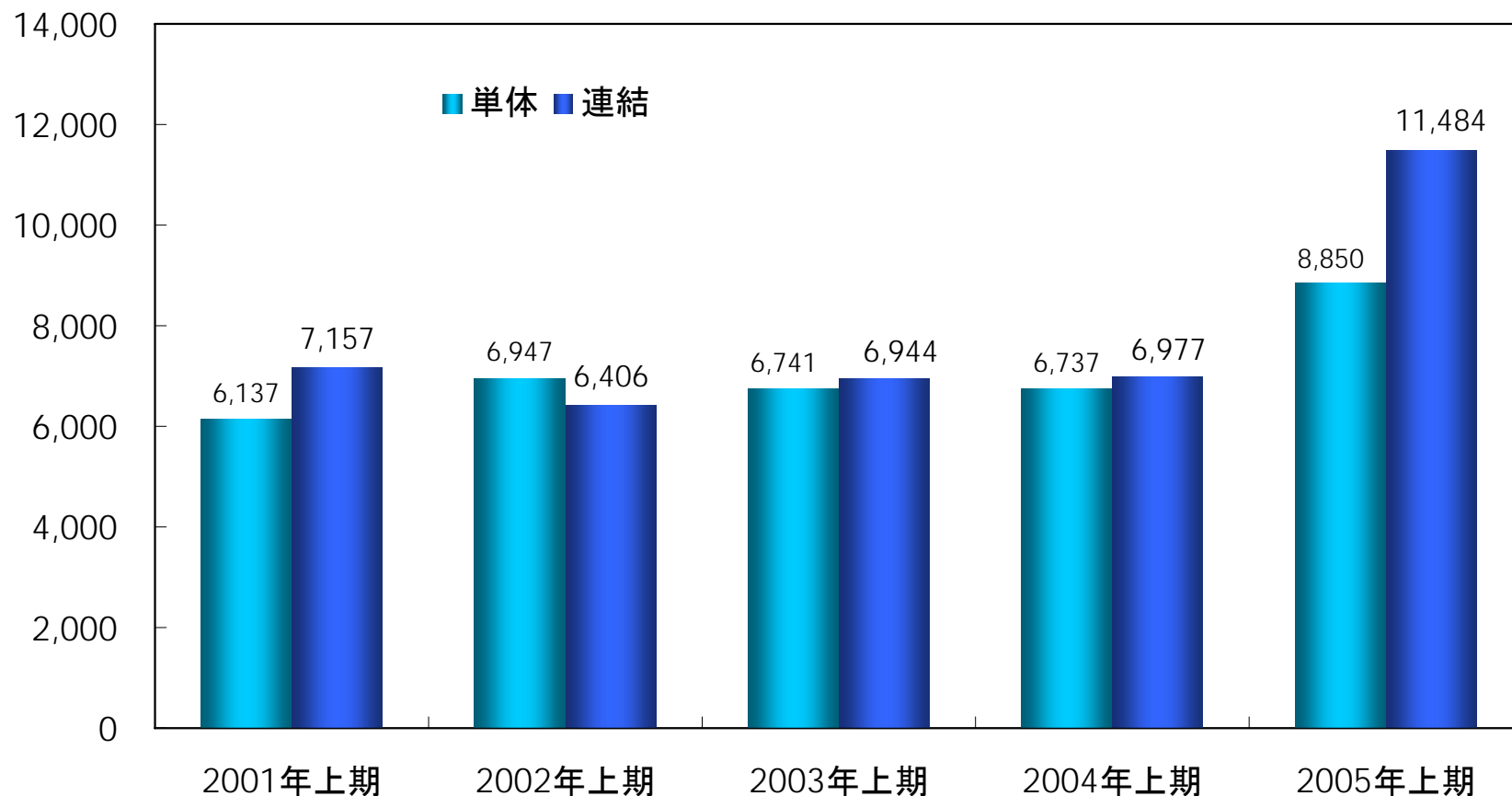
	上段：金額（百万円） 下段：構成比（%）			セグメント別の業績概要
	売上高	営業費用	営業利益	
移動体通信機器 販売事業	10,876 (94.7)	10,191 (91.7)	685 (186.4)	昨年実施したM&Aによる店舗増の効果がフルに寄与するなど、営業利益685百万円となる。
ネットワーク 事業	284 (2.5)	388 (3.5)	△104 (△28.4)	主力のKDDIメタルプラスの加入取次事業は、獲得実績を着実に伸ばしてきた。しかしながら、携帯電話に比べ解約率が高いこと、また、拠点整備（コールセンター設置・拡大）および人材採用・教育への先行投資を行ったことにより、営業損失104百万円となる。
人材サービス 事業	361 (3.1)	395 (3.6)	△34 (△9.4)	主力の人材派遣事業は着実に収益を改善。しかしながら、新たにスタートした人材紹介等の事業への先行投資もあり、営業損失34百万円となる。
消去又は全社	△37 (△0.3)	141 (1.3)	△178 (△48.6)	_____
連結	11,484 (100.0)	11,117 (100.0)	367 (100.0)	_____

3. 売上高（連結・単体）

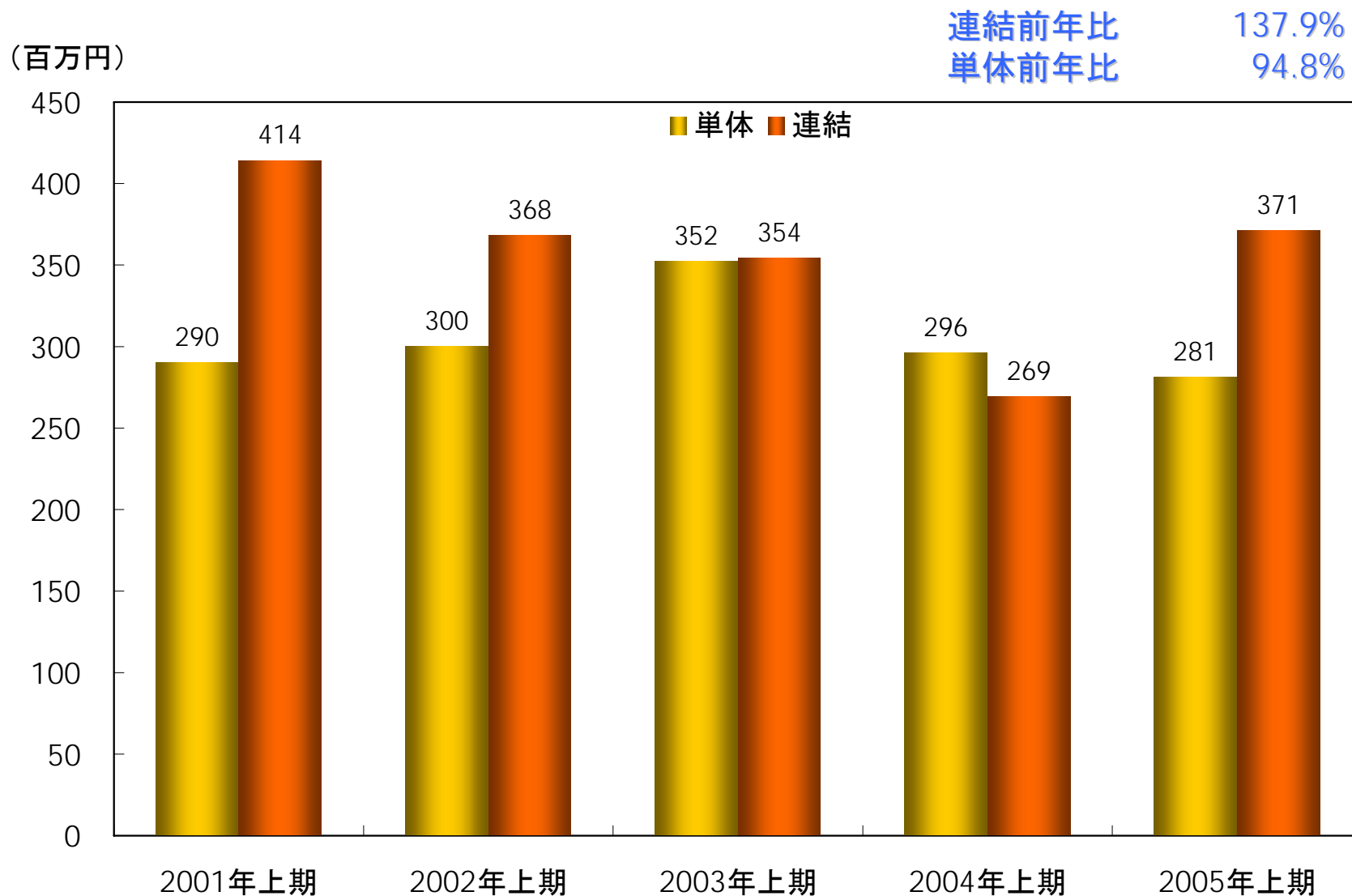
2004年下期より、成長へ舵をきり、売上は順調に増加

連結前年比 164.6%
単体前年比 131.4%

(百万円)



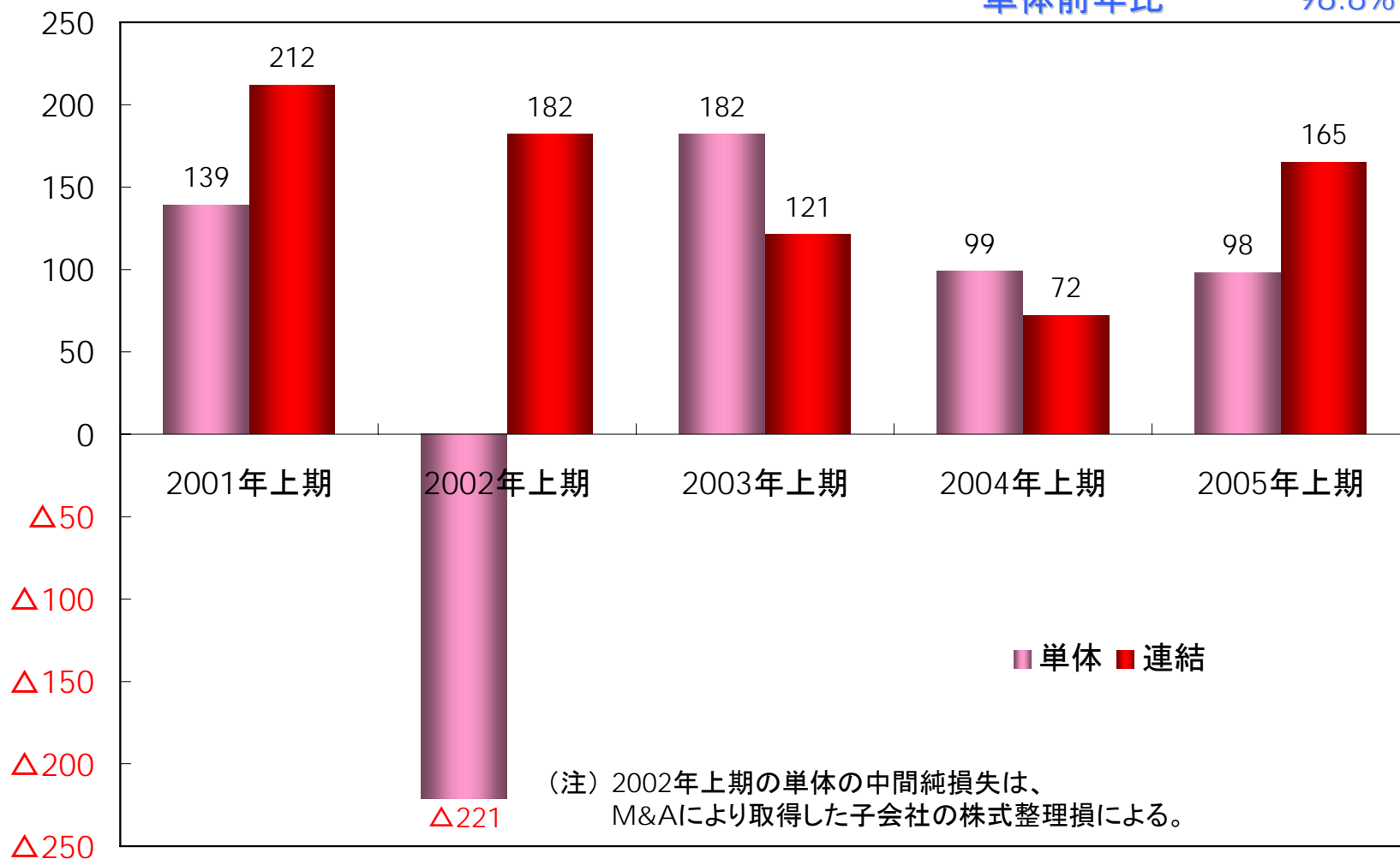
4. 經常利益（連結・単体）



5. 中間純利益 (連結・単体)

連結前年比 229.3%
単体前年比 98.8%

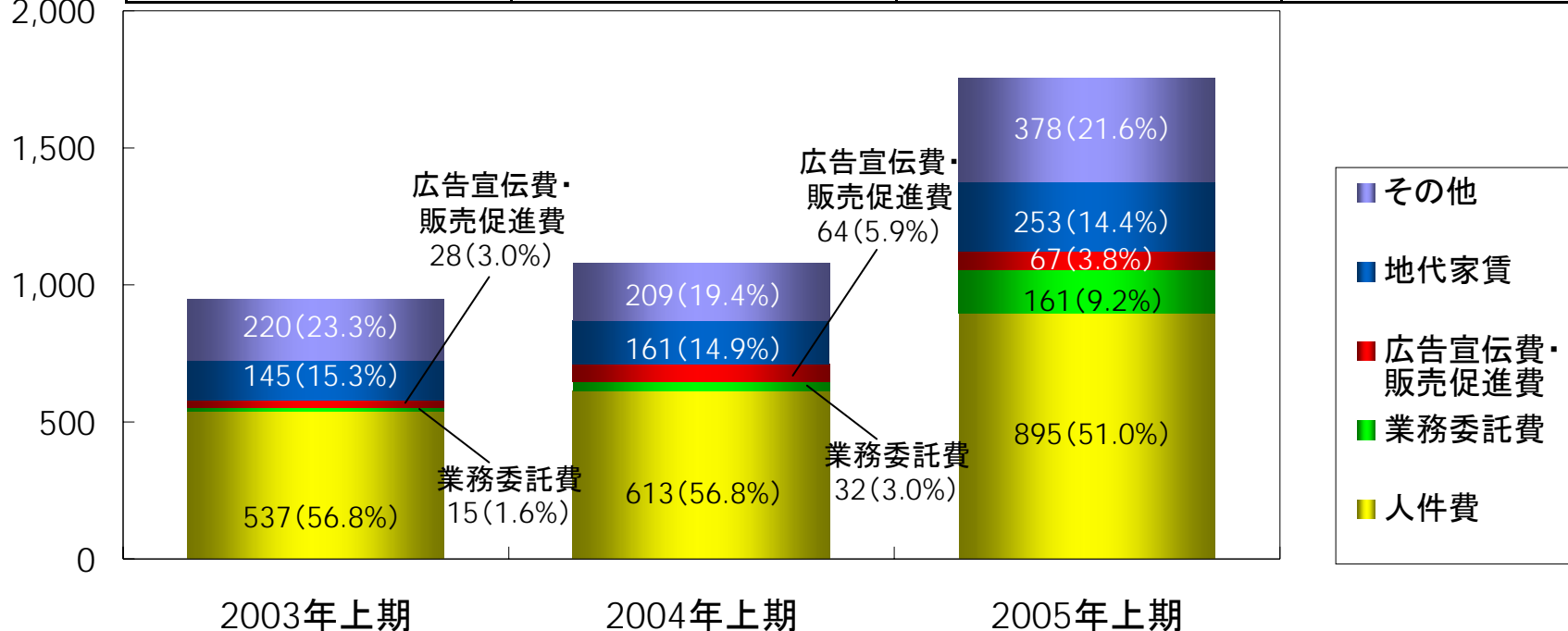
(百万円)



6.販売管理費（連結）

2003年上期	2004年上期	2005年上期	決算期
1,292	1,339	2,123	売上総利益(百万円)
537	613	895	人件費(百万円)
946	1,080	1,755	販売管理費(百万円)
2.40	2.19	2.37	売上総利益 ／人件費
1.37	1.24	1.21	売上総利益 ／販売管理費

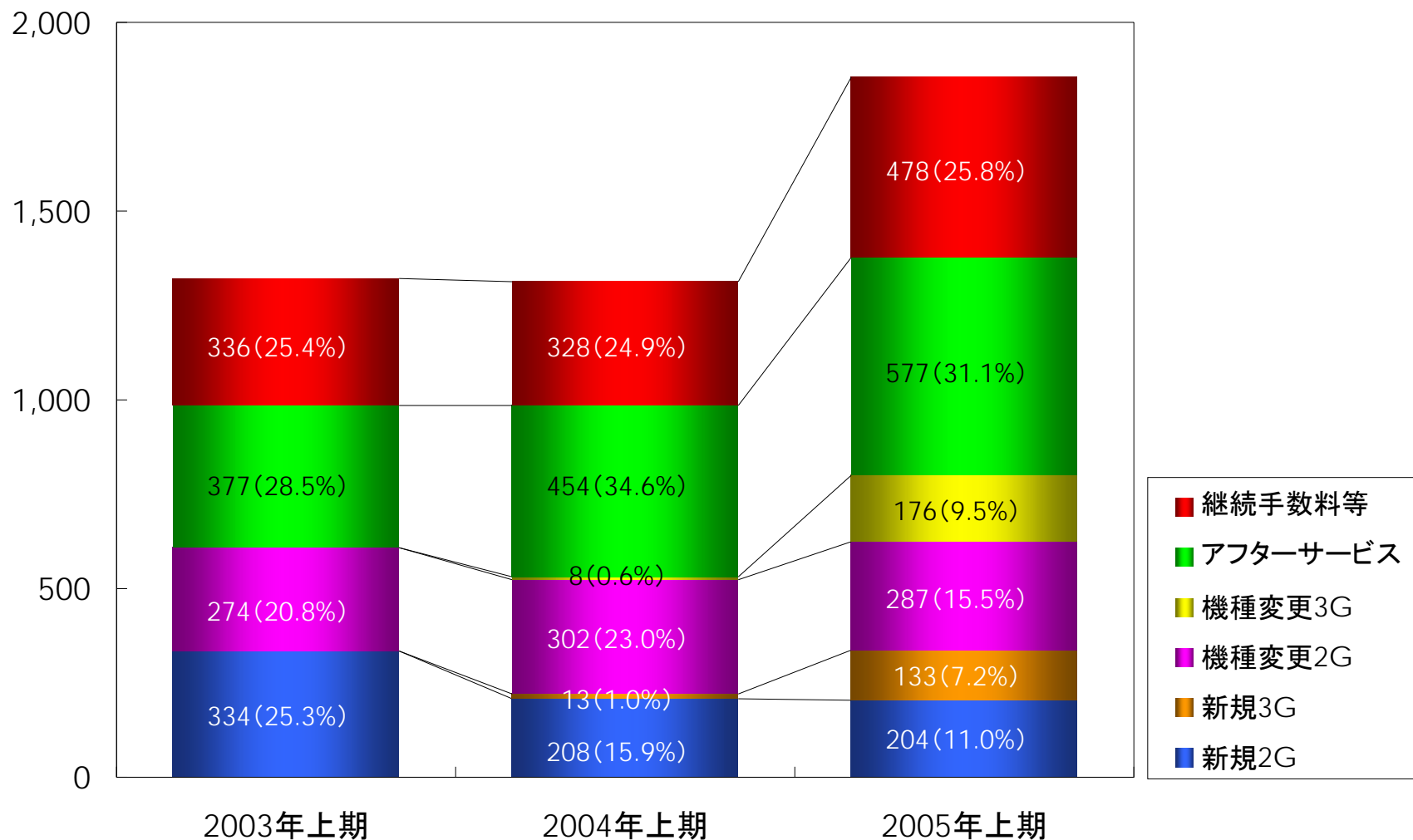
(百万円)
2,000



7. 売上総利益構成（連結）

～移動体通信機器販売事業のみ～

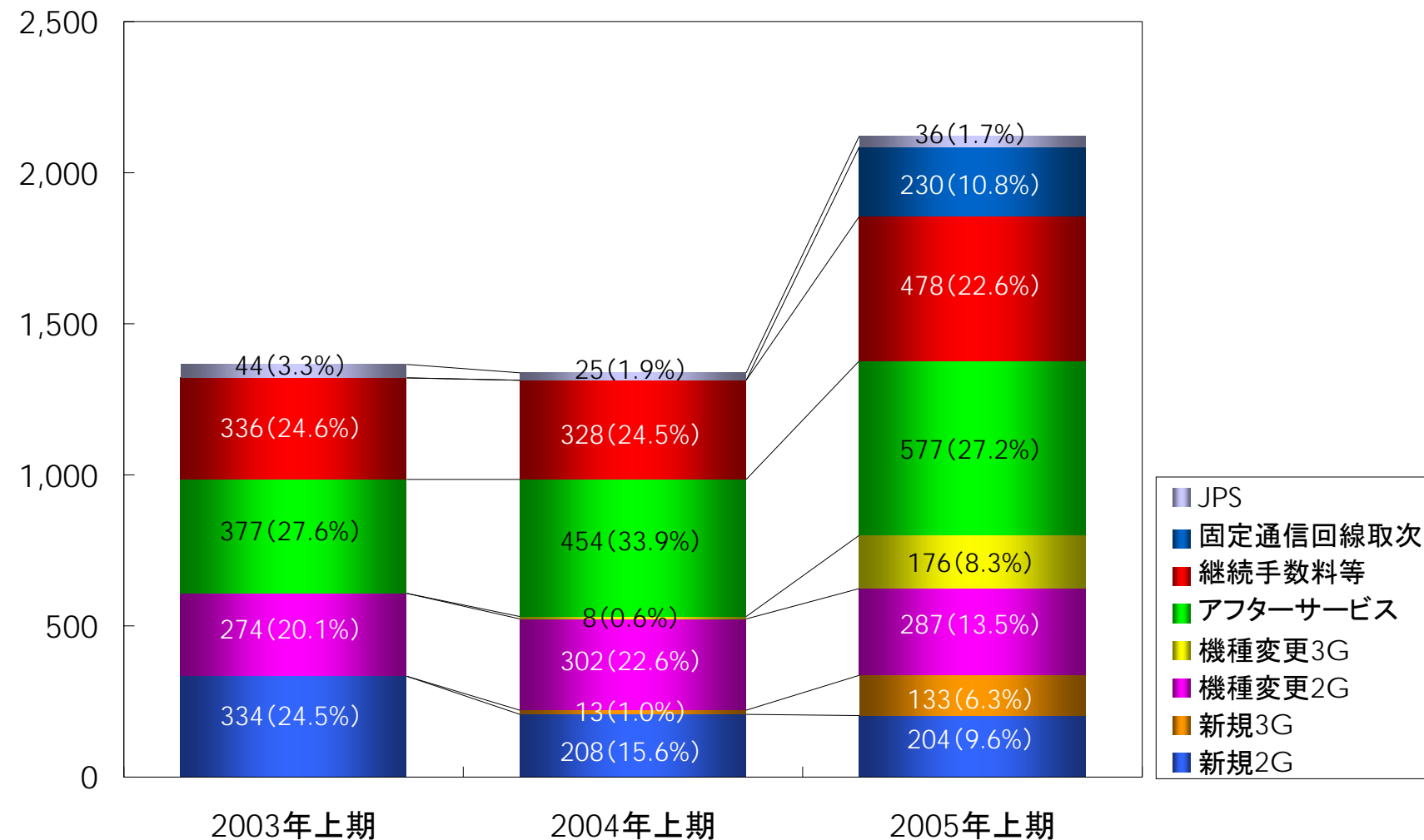
(百万円)



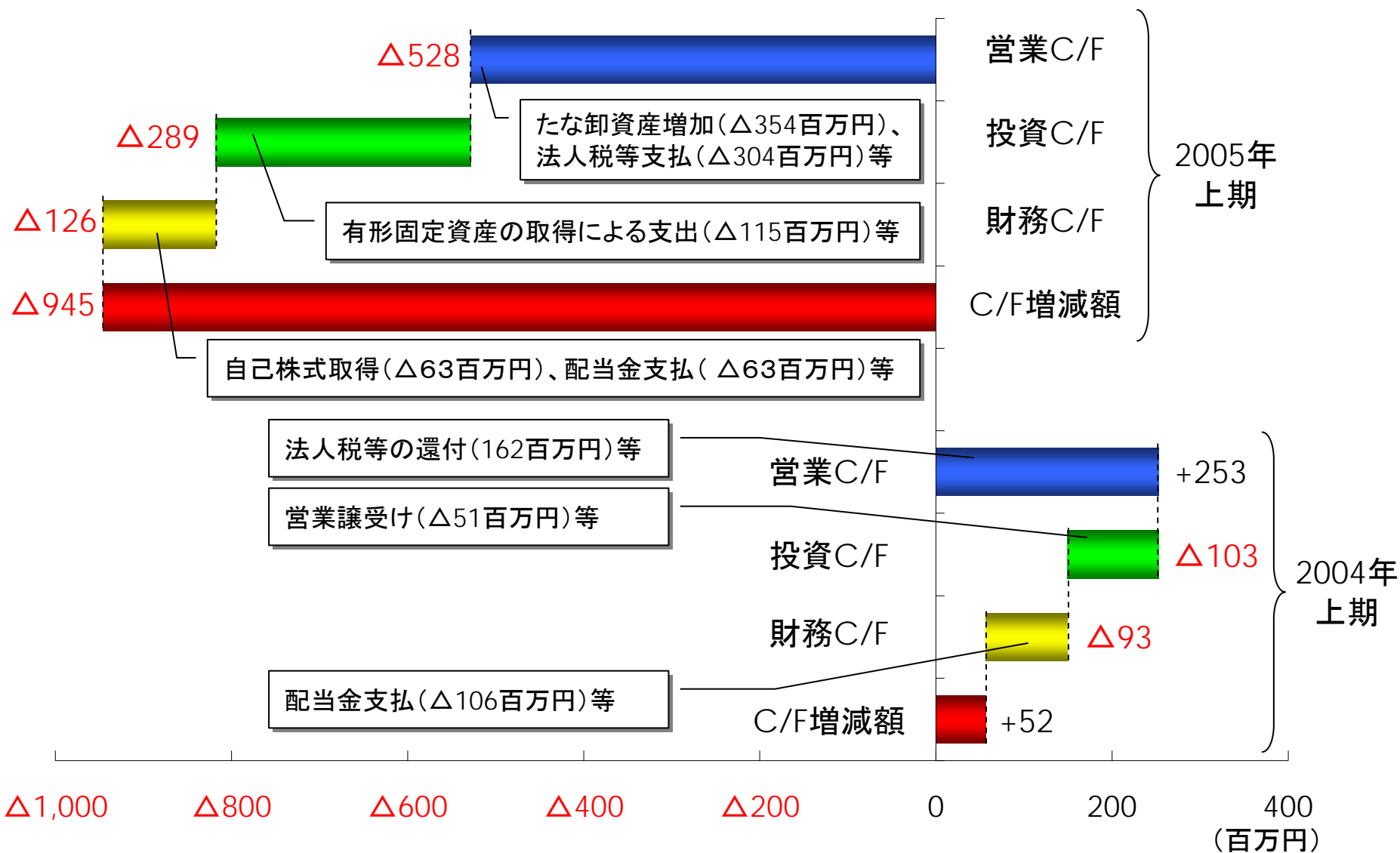
8. 売上総利益構成（連結）

～全事業～

(百万円)



9. キャッシュ・フロー内訳 (連結)



10. 財務指標（連結）

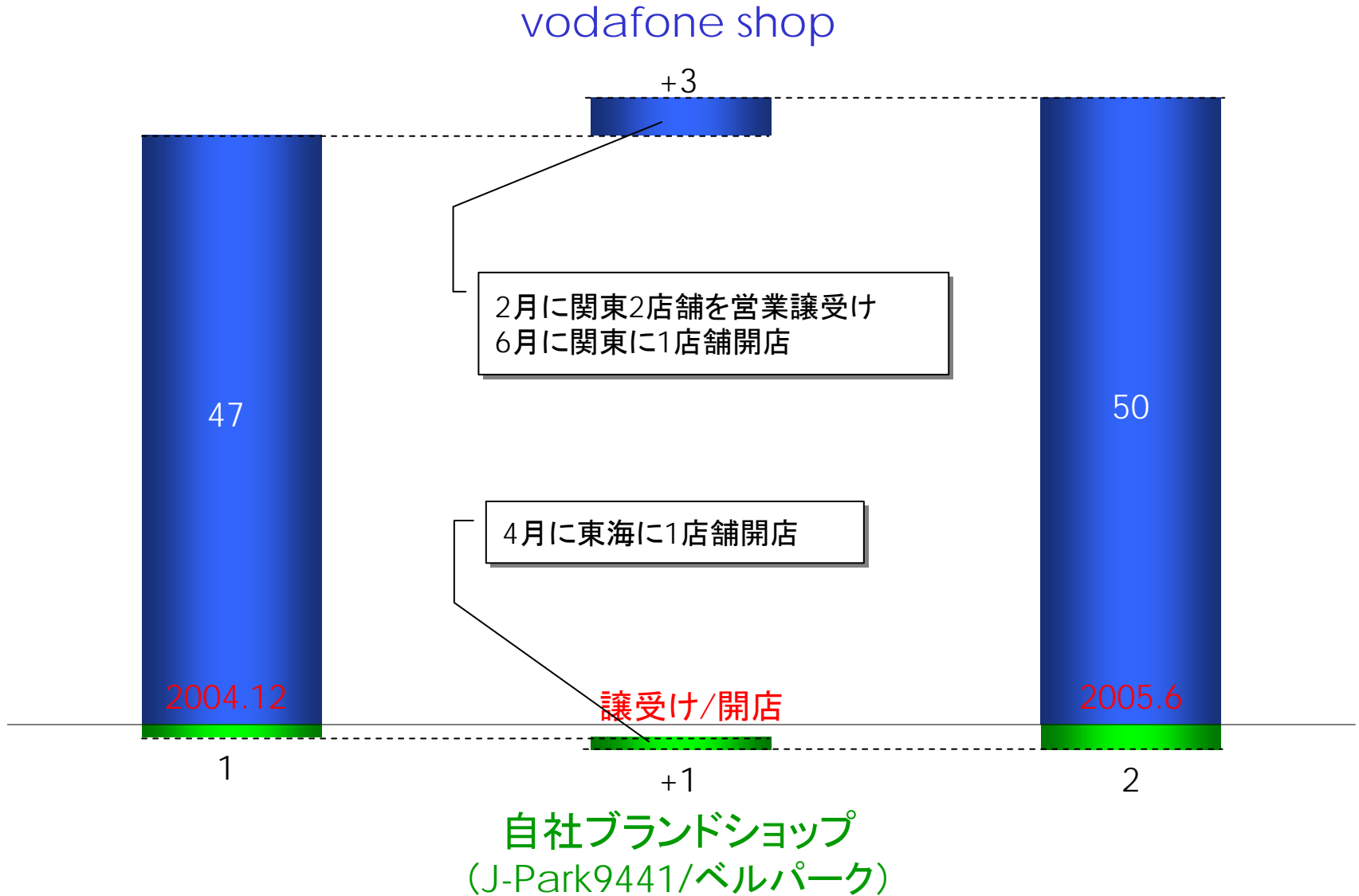
		2003年 上期	2004年 上期	2005年 上期
収益性	総資本経常利益率 (注)	15.1%	10.2%	11.2%
	株主資本当期純利益率 (注)	8.3%	4.2%	10.8%
	キャッシュフロー・マージン	2.0%	3.6%	—
	売上高総利益率	18.6%	19.2%	18.5%
	売上高経常利益率	5.1%	3.9%	3.2%
効率性	総資本回転率 (回/年) (注)	2.97	2.65	3.47
	売上債権回転日数 (日) (注)	7.3	7.3	5.5
	在庫回転日数 (日) (注)	11.7	18.2	19.6
安全性	株主資本比率	65.2%	67.2%	48.4%
	流動比率	247.7%	265.4%	158.9%

(注) 各指標が1年あたりの値になるよう、当中間連結会計期間の売上高、経常利益、中間純利益をそれぞれ2倍にして計算してあります。

Ⅲ 営業実績

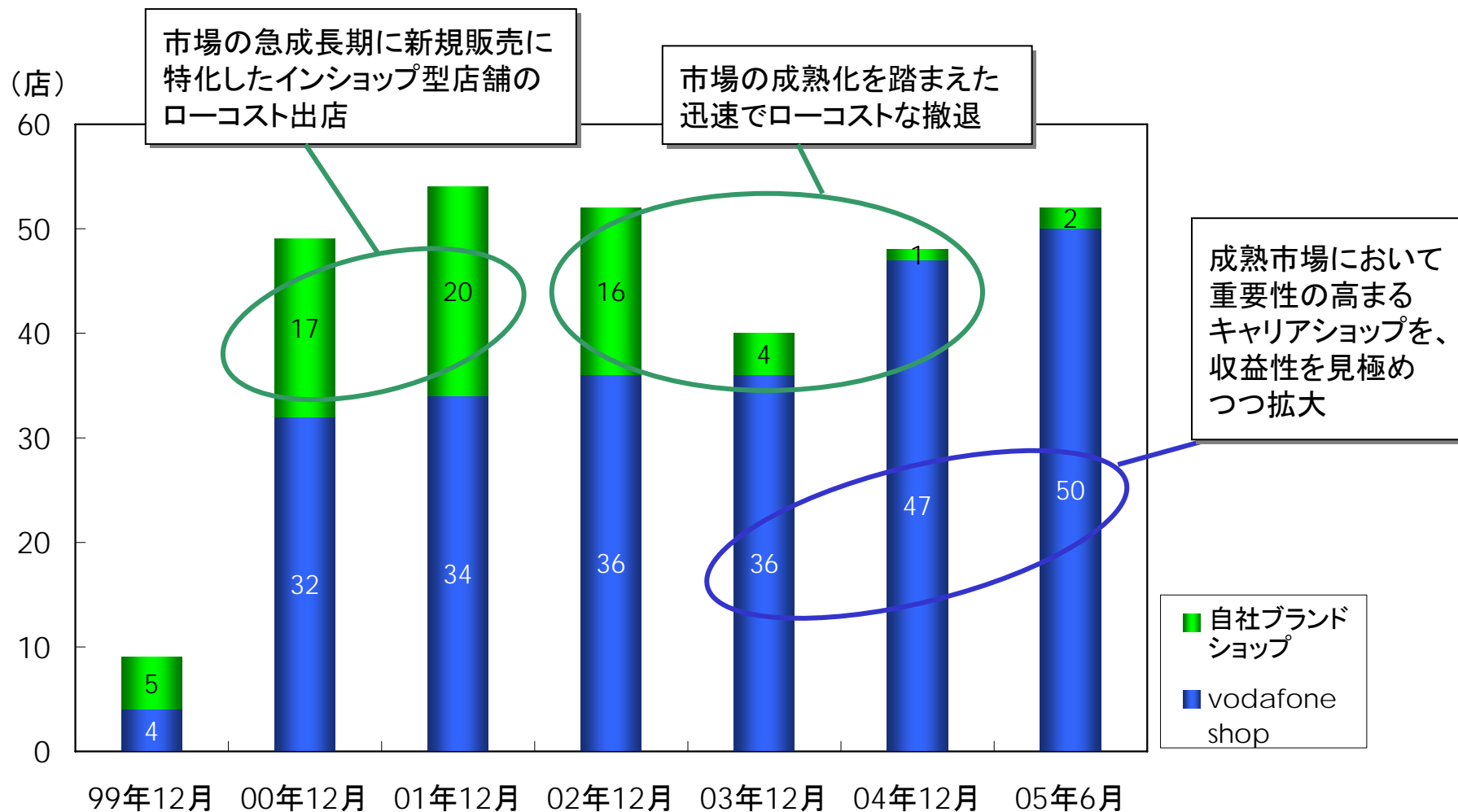
移動体通信機器販売事業

1. 店舗数増減



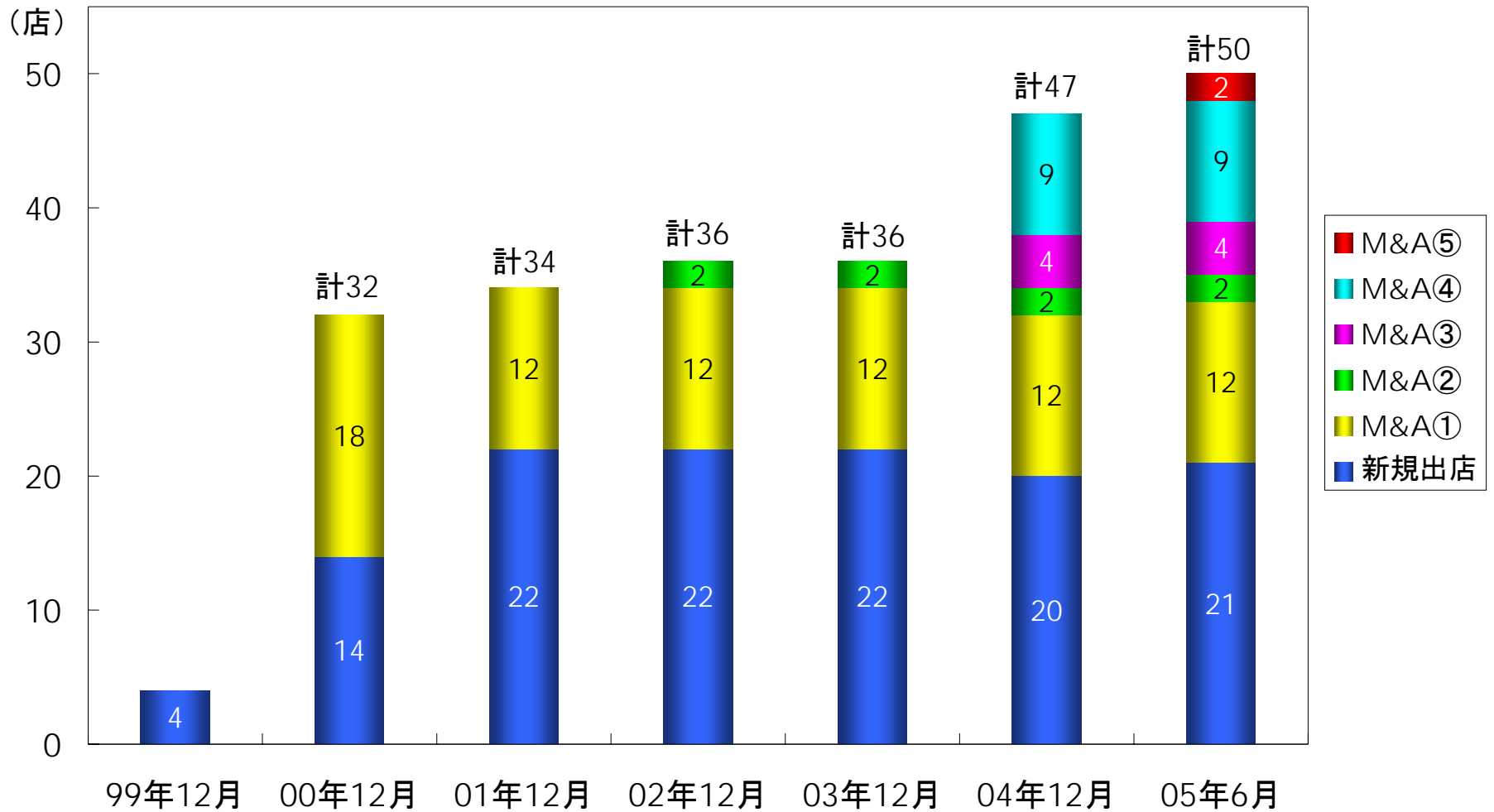
2. 店舗数推移

ニーズの変遷と事業採算を踏まえて、キャリア・ショップに特化へ



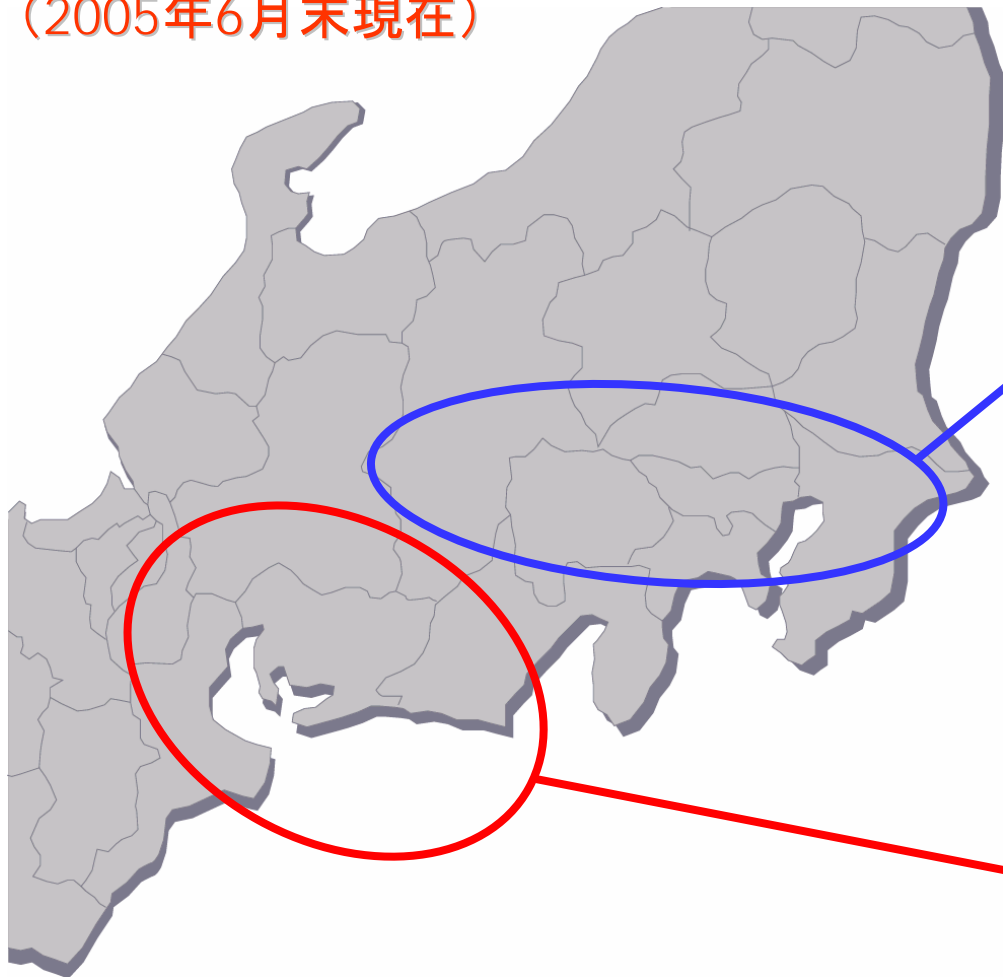
3. vodafone shop 増減内訳

5度のM&Aで店舗網を拡大



4. 店舗網

1都8県に「vodafone shop」を50店、
「自社ブランドショップ」を2店展開。
(2005年6月末現在)



関東圏店舗数

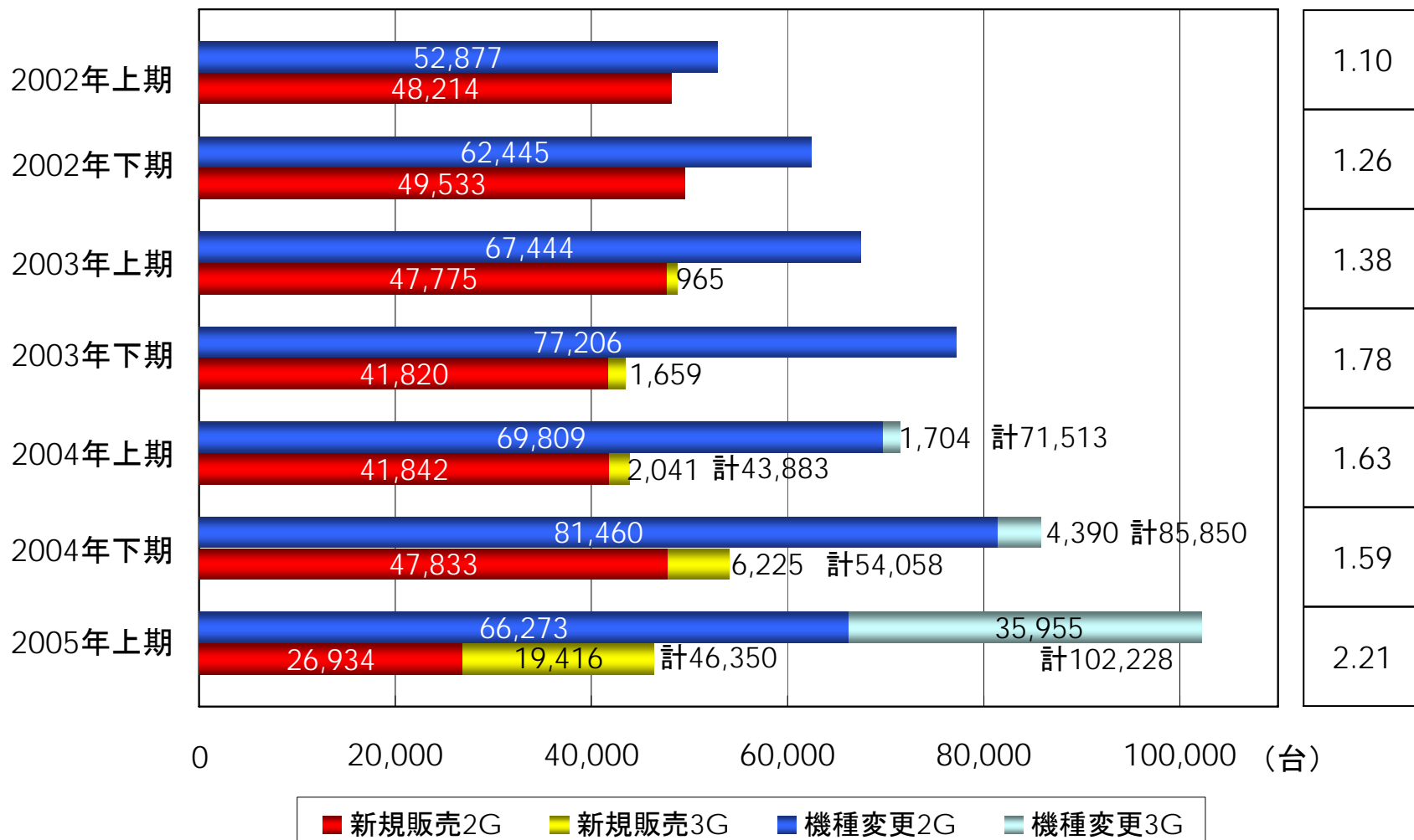
	vodafone shop	自社ブランドショップ
東京都	25	0
神奈川県	5	0
千葉県	5	1
埼玉県	9	0
長野県	1	0
小計	45	1

東海圏店舗数

	vodafone shop	自社ブランドショップ
愛知県	2	1
静岡県	1	0
岐阜県	1	0
三重県	1	0
小計	5	1

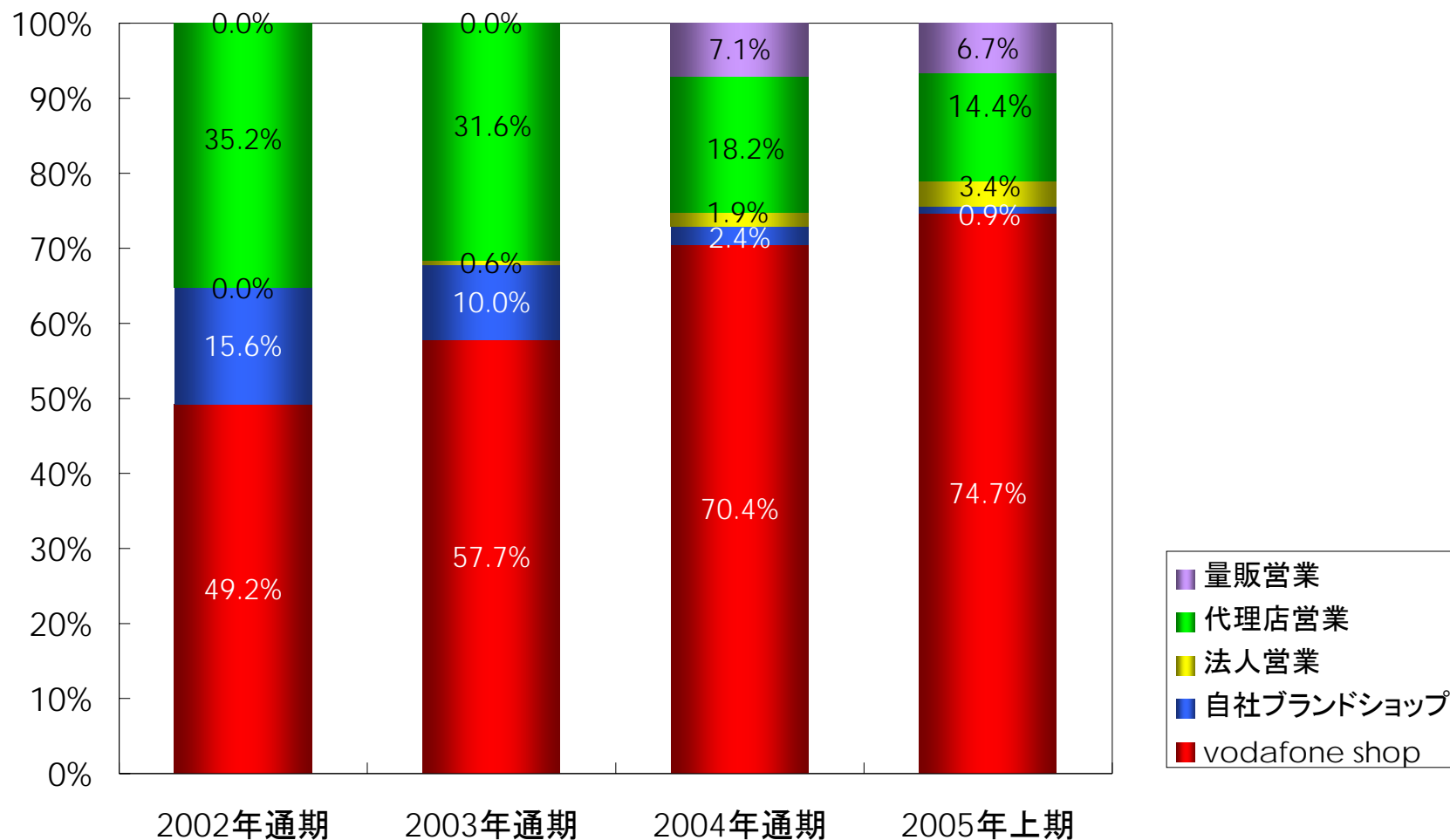
5. 販売台数推移

新規販売を1とした際の
機種変更の指数



6. 新規販売台数チャネル構成比推移

代理店営業(二次代理店への卸販売)は不調。
法人営業とvodafone Shopに注力。



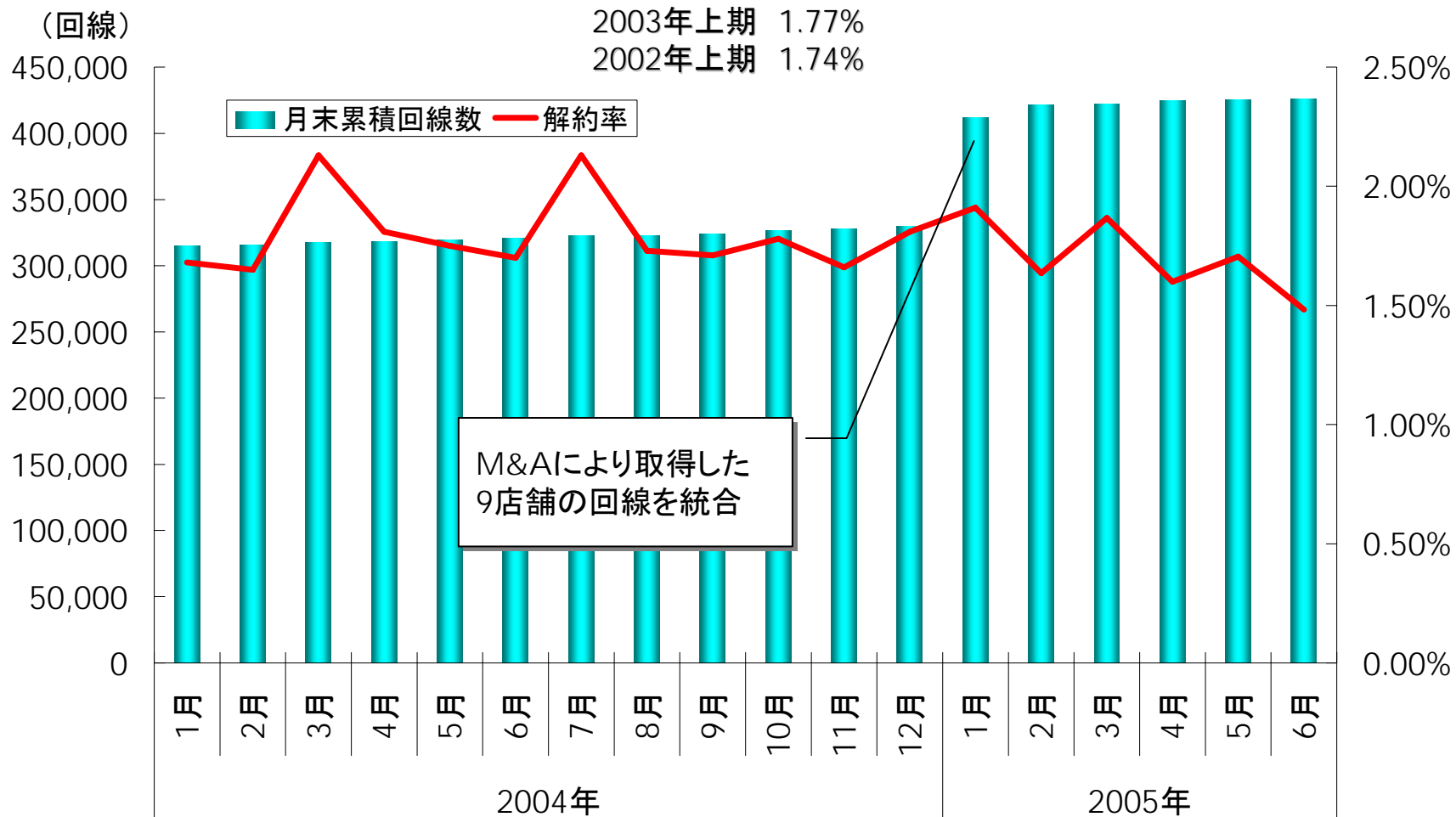
7. 累積回線数と解約率（月次推移）

2005年上期平均月間解約率 1.70%

2004年上期 1.79%

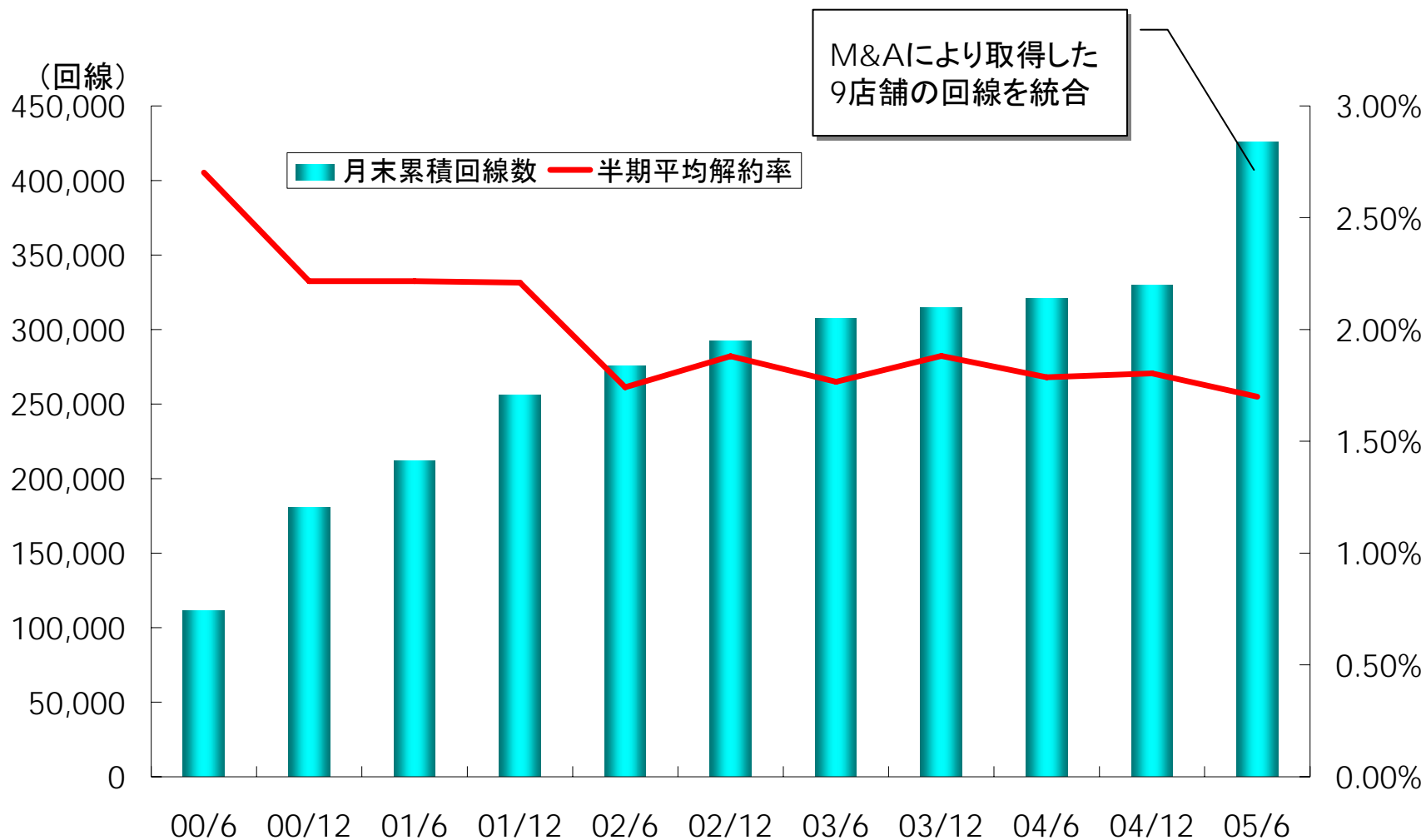
2003年上期 1.77%

2002年上期 1.74%



(注) 東海エリアは含んでおりません。

8. 累積回線数と解約率（半年毎の推移）

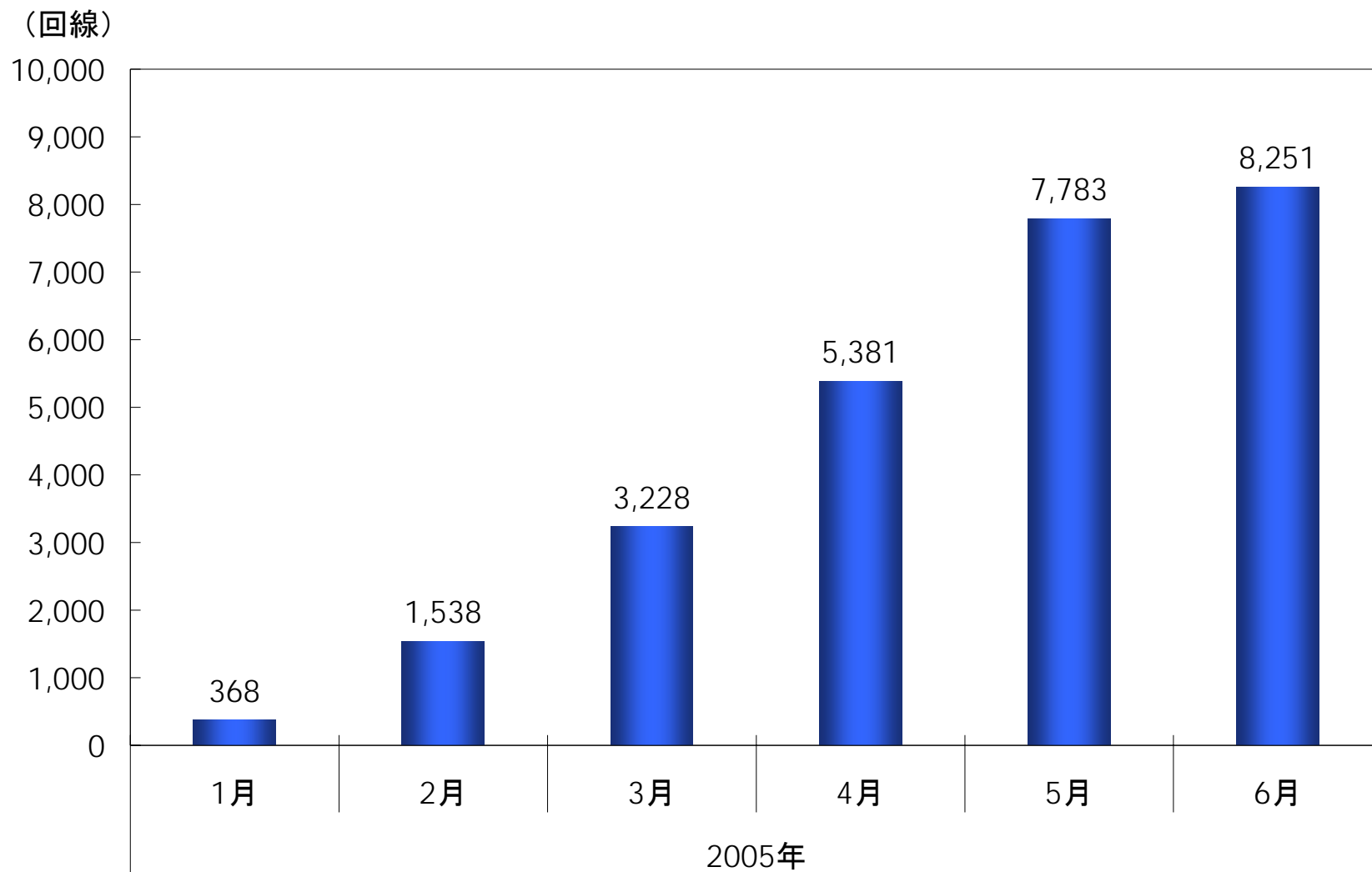


(注)東海エリアは含んでおりません。

ネットワーク事業

「KDDIメタルプラス」加入取次実績推移

2005年1月の事業スタート以来、加入取次実績を着実に積み上げ



I 決算総括

II 財務情報

III 営業実績

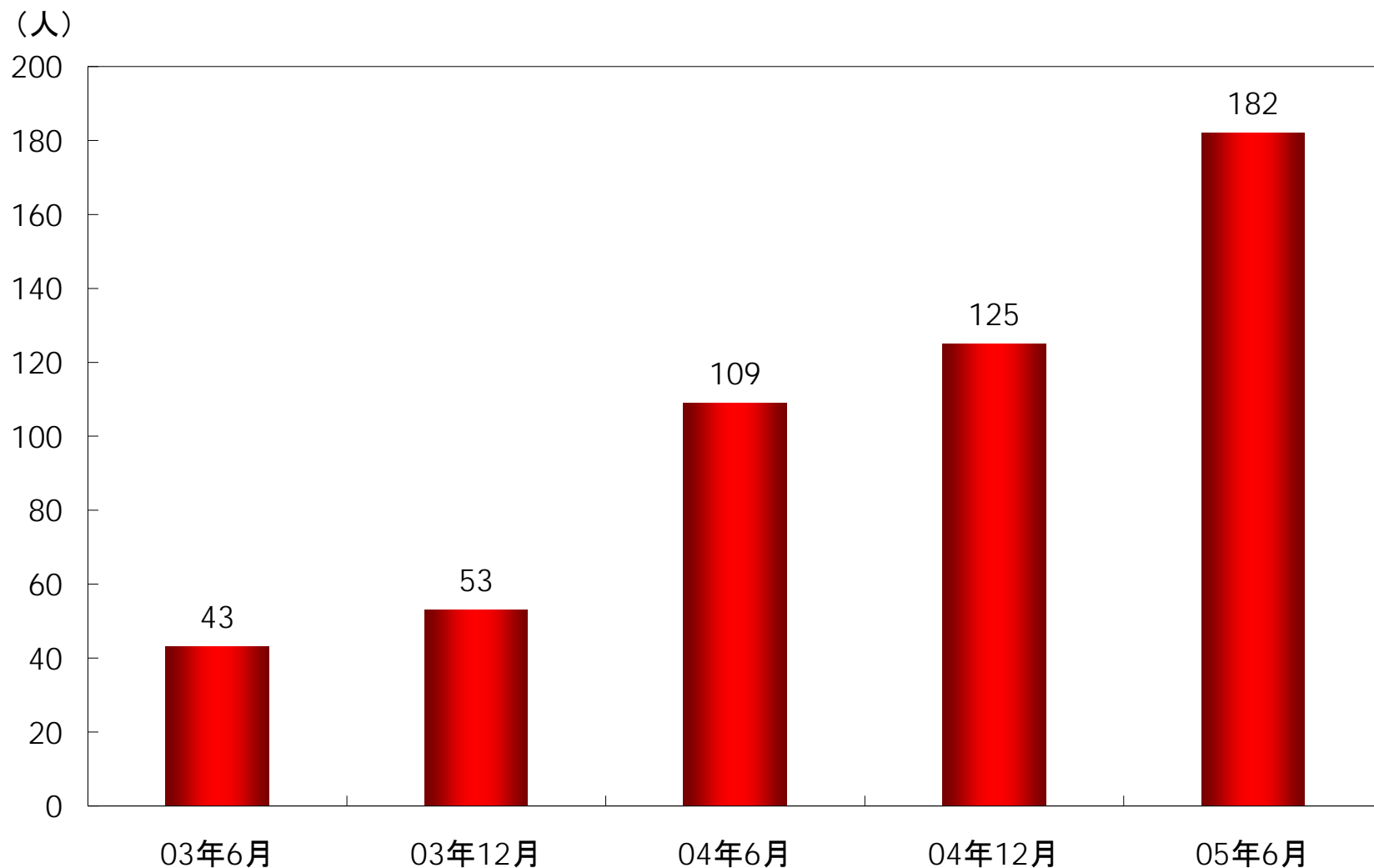
IV 利益計画

Bell-Park

人材サービス事業

派遣実績推移

2003年の事業スタート以来、ショップスタッフ向けを中心に派遣実績を積み上げ



IV 2005年通期利益計画

2005年通期利益計画

経常利益は連結ベースで最高益を目指す

(百万円)

	2005年上期実績				2005年通期計画			
	ベル パーク	ニッカ	JPS	連結	ベル パーク	ニッカ	JPS	連結
売上高	8,850	2,310	361	11,484	18,000	5,000	1,000	24,000
経常利益	281	126	△35	371	630	250	△30	850
当期純利益	98	72	△45	165	270	140	△40	400

(注) 連結に伴う会計上の調整が行われるため、ベルパーク・ニッカ・JPSの合計額と連結の値は一致しない場合があります。

将来の見通しに対する記述についての注意事項

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しが変動する可能性があります。

We strongly believe in our ability, potential and the possibilities of the future.

Bell-Park